



# こちら 中央区です Chuo 4月号 平成28年

**編集** 中央区役所 〒860-8618 中央区手取本町1番1号 ☎096-328-2555(代表)

- ・総務企画課 ☎096-328-2610
- ・まちづくり推進課 ☎096-328-2614
- ・区民課 ☎096-328-2240
- ・福祉課 ☎096-328-2311
- ・保護課 ☎096-328-2320
- ・保健子ども課 ☎096-328-2419
- ・中央税務課 ☎096-328-2181

大江出張所 ☎096-372-0311

中央区の人口 **人口** 186,347人 **世帯** 95,801世帯 **面積** 25.45km<sup>2</sup> (国土地理院公表値)  
(平成28年2月1日現在推計人口) ※今月は平成27年国勢調査速報値を基に推計したため、前月比は掲載していません。

## すこやかくまもと栄養セミナー **無料**

「食」とおして健康づくりのボランティア活動をするために、知識や技術を学ぶセミナーです。



食生活改善推進員としてあなたの力を活かしてみませんか。

**期間** 5月～来年1月まで(全6回)

**場所** ウェルパルクまもと3階

**内容** 栄養・運動・休養など健康づくりに関する講話や調理実習など

**対象** 中央区に住む18歳以上の方で、セミナーに毎回参加し、修了後「食生活改善推進員」として地域で健康づくり活動ができる方

**定員** 20人(先着順)

**申込み** 4月6日から電話で中央区役所保健子ども課へ

## 認知症家族の集い こもれびひろば ～本音で話すことができる仲間を見つけましょう!～

### ①砂取会場

**日時** 4月1日(金) 午後1時半～3時半

**場所** グループホームゆうしん水前寺  
(中央区水前寺5丁目20-5)

### ②出水会場

**日時** 4月15日(金) 午後1時半～3時半

**場所** 水前寺高齢者複合施設(中央区国府1丁目3-15)

<①②共通>

**費用** 100円

**申込み** 電話でささえりあ水前寺(☎096-362-0065)へ

### ③壺川会場

**日時** 4月25日(月) 午後1時半～3時半

**場所** グループホームこせん(中央区壺川2丁目3-70)

**費用** 100円

**申込み** 電話でささえりあ熊本中央(☎096-319-0222)へ

(中央区役所福祉課)

## 育児教室 **無料**

**日時** 4月22日(金) 午後1時半～3時半(受付 午後1時～)

**場所** ウェルパルクまもと3階すこやかホール  
**内容** 離乳食の進め方、赤ちゃんとのふれあい遊びなど

**対象** 中央区に住む平成27年11月～12月生まれの乳児(第1子)と保護者

**定員** 25組(先着順)

**持参物** 親子(母子)健康手帳、バスタオル

**申込み** 4月5日から電話で中央区役所保健子ども課へ

## 中央区ニュース

### 本荘校区「男の料理教室」



本荘地域コミュニティセンターの主催講座として、2月7日(日)に「男の料理教室」がありました。肥後パパ料理の会の代表、肥後飯士の水野 直樹さんのアドバイスのもと、「季節の野菜の生姜ごはん」、「仲間とつくる餃子」、「わかめのかき玉スープ」を、2つのグループに分かれて作りました。

「家で自分ひとりで作ってみたい」という参加者もいれば、「自分ではもう料理しないと思うけど、普段料理を作ってくれる奥さんに感謝の言葉を表したい」など、感想もさまざまでした。このつながりが、今後も本荘校区で活かされるといいですね。

(中央区役所まちづくり推進課)

### 『つながる、中央区。』自治会長研修交流会を開催しました

2月9日(火)、自治会長の皆さんを対象に「平成27年度中央区自治会長研修交流会」を開催しました。

「ささえりあ浄行寺」の田口 善信さんに「地域での支え合いについて」をテーマに講演をいただきました。地域の社会資源を活かし、町内や地域で支え合い、介護予防のための高齢者の体力の維持や住民同士のつながりづくり等、さまざまな取り組みが紹介されました。

大江校区第1町内自治会からは「団地集会所を活用した『みんなの保健室』」、一新校区第2町内自治会からは「2町内元気サロン・映画会の取組み等」と題して、事例発表を行っていただきました。どちらの取り組みも、住民同士のつながりができ、引きこもり・孤立化の防止にもなり、高齢者の安否確認という効果も期待できます。中央区は高齢者の単身世帯が市内で最も多く、「近い将来、どの地域でも抱える課題に対する取り組みの紹介だったので、今後の参考になった」との感想が寄せられました。

(中央区役所まちづくり推進課)



### 横手・高麗門涅槃絵図拝観ツアーが行われました

2月15日(月)に、一新校区にて涅槃絵図拝観ツアーが行われました。



これは一新校区自治協議会が主催したもので、今年参加者は子ども約80人を含む、240人ほど。4年ぶりのご開帳となった安國寺をはじめとし、一新校区の横手地域にある7つのお寺でお釈迦様入滅を描いた涅槃絵図のご開帳がありました。毎年楽しみにしているリピーターも多く、参加者はそれぞれ自分のペースで各お寺をめぐり、涅槃絵図を拝観しました。また、資料・お菓子とともに御朱印帳も配られ、拝観と合わせてこのイベント限定の御朱印集めも楽しみました。

(中央区役所まちづくり推進課)

## 魅力再発見 城下町くまもと散策 1 白川界隈散策 ① 「大井手と加藤清正」

豊臣秀吉配下の武将であった加藤清正は天正16年(1588)に、27歳の若さで肥後の北側を中心に約半分を与えられ、隈本城に入城しました(後に茶臼山に城を築き、熊本城と改めました)。

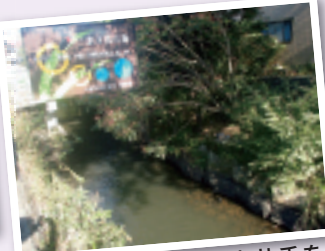
清正は前の国主、佐々成政が国衆(※1)の反乱にあって改易させられた失敗を手本として、民心の安定を第一に考えて国づくりを進めました。まず着手したのが治水で、築城よりも河川改修を優先させたといわれています。白川では、流路変更や、多くの堰など、治水や利水施設が造られ、渡鹿堰や大井手は慶長11～13年(1606～08)にかけて造られました。

大井手は白川が平野部に入る直前に造られた渡鹿堰から取水し、新屋敷・九品寺を流れ、安政橋と銀座橋の間で再び白川に合流する全長2.6kmの幹線水路です。白川に合流するまでの間に、一の井手・二の井手・三の井手の3つの分流が設けられています。これらの水路が完成したことで熊本平野は潤い、肥後米の生産に大いに貢献したといわれ開削(※2)以来、流域の水田を潤し、豊かな実りをもたらしてきました。昭和30年代以降になると大井手下流の農地は宅地化が進み、排水などが流れ込んだことなどで、それまで生息していたホタルやシジミがほぼ全滅するなど、汚染が著しく進んでしまいました。

白川渡鹿堰からの大井手取水口



新屋敷公園付近



渡鹿5丁目公園付近(大井手を守る会ホタルの街看板付近)

そのような状況の中、昭和53年に大井手の水辺に再びホタルを呼び戻そうと住民活動が起こり、地元自治会、婦人会、子ども会などが一緒になって「ホタルの会」が発足しました。その後、昭和60年には「ホタル鑑賞会」、昭和63年には「大井手を守る会」と改称し、ホタルの放流活動を機に、大井手を清流に戻したいと「大井手を守る会」の方を中心に月1回の清掃活動が行われています。現在では毎年5月末になると、渡鹿5丁目沿いでホタルが飛び交う姿が見られるようになりました。

※1 国衆…その土地を所有し、民政・軍政を担当していた戦国領主

※2 開削…土地を切り開いて道路や運河などを通すこと

【参考文献】「大井手を守る会」40年の歩み

(中央区役所総務企画課)